

広島大学大学院人間社会科学研究科(博士課程前期)
法学・政治学プログラム入学試験
(令和7年8月実施)

問 題

[小 論 文]

以下の文章を読んで、すべての問に答えてください。

文章 1

著作権保護の観点から、公表していません。

著作権保護の観点から，公表していません。

（出所：朝日新聞社ホームページ

https://www.asahi.com/articles/DA3S16252018.html?iref=pc_rensai_long_16_article を一部改変）

文章 2

著作権保護の観点から，公表していません。

著作権保護の観点から、公表していません。

(出所：読売新聞ホームページ

<https://www.yomiuri.co.jp/editorial/20250710-OYTtT50240/>

を一部改変)

問1 文章1と文章2を読み、2つの文章の基本的な趣旨と微妙なニュアンスの違いに留意して、2つの文章のどこが同じでどこが違うのかについて、述べてください。

問2 2つの文章を読んだ上で、安全保障政策と国民の理解について、あなたの考えを述べてください。

出題の意図

問1 同じ題材で、論旨の内容はほぼ同じ。違いに目を向けると、朝日新聞の社説は「軍事面で日本が米国に追従する構図の象徴」、沖縄県でのオスプレイ配備についての県内の反発等に言及しており、日本の米国追随を批判している点で、オスプレイ配備に対する不信を明確にしている。一方で読売新聞の社説は、「今回、佐賀駐屯地が開設されたことによって、ようやく離島奪還作戦を円滑に実施できる体制が整ったと言える。」との表現、論点を政府の安全対策に関する説明に絞っている等を考えると、政府の説明に論点を限定しようとしているといえる。

問2 解答者が、例文に言及された論点をカバーしたうえで、自分の見解を論理的に構成できていれば可。